

建石修志展

テーブルの上の博物誌

澁澤さんの方へ

我が *image* の源でもある 澁澤氏を、タブローの裏面に貼り付けて…。

2025.10.18|土| -11.9|日|



《プラトン立体》油彩・アルキド樹脂絵具 273×273mm 2025 年

GALERIE L'ŒIL ギャラリーロイユ

imaginary natural history on the table
SHUJI TATEISHI

建石修志展「テーブルの上の博物誌」

imaginary natural history on the table

澁澤さんの方へ

“我が *image* の源でもある澁澤氏を、タブローの裏面に貼り付けて…。これは、表層を剥ぎ取った *image* の原器である。”（建石修志）

2025年10月18日(土) - 11月9日(日) 13時-18時 水木休廊

幻想文学の装画を数多く手掛け、精緻な幻想世界を描き続けてきた建石修志。卓越した技巧と豊かな想像力によって裏打ちされた作品世界は、長年にわたり多くの人々を魅了してきました。本展では、その創作の源泉であり、芸術活動の核をなした澁澤龍彦の思想と美学、澁澤の著作を通じて出会った異端文学や幻想美術をもとに生み出された作品を紹介いたします。タブロー、鉛筆画、オブジェ等多彩な技法による作品約40点を展示いたします。



《オルフェウス、ケンタウルスに詩を伝える》
油彩・アルキド樹脂絵具 10F 2025 年



《鴨の往くノスタルジア》
鉛筆画 10F 2025 年



《キング オブ プロテア》
油彩・アルキド樹脂絵具
4F 2025 年

《眠るアクタイオン》
油彩・アルキド樹脂絵具
307×300mm 2024 年



建石修志 / Shuji Tateishi

東京生まれ。東京芸術大学美術学部 VD 専攻卒業。「凍結するアリスたちの日々に」に始まる鉛筆による作品、「標本箱の少年」に始まる油彩・テムペラの混合技法による作品、箱によるオブジェ、コラージュの作品制作と並行して、中井英夫、久世光彦、皆川博子など小説の挿画、又、書籍の装丁は400冊を数える。画集「凍結するアリス達の日々に」(深夜叢書社刊)「紙片の狭間へ」(青木画廊刊)、技法書「鉛筆で描く」、「不思議の国のアリス・鏡の国のアリス」(青土社刊)等。

galerie L'œil
ギャラリーロイユ
650-0012 神戸市中央区北長狭通3-2-10 キダビル2F
Tel 078-595-9070
E-mail luna@g-loeil.com
URL http://g-loeil.com



交通アクセス

- ・JR／阪神「元町」駅東口から北東へ徒歩3分
- ・JR／阪急「三宮」駅西口から徒歩6分
- ・新幹線「新神戸」駅からタクシーで約10分
または地下鉄乗換「三宮」駅下車、徒歩7分
- ・神戸空港からポートライナー「三宮」駅下車徒歩8分

